

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	送 付 委員会名
27年 第5号	27. 1. 7	<p>悪性腫瘍（通称がん）の窓口負担の医療費を無料にする事に関する陳情</p> <p>【陳情趣旨】</p> <p>日本人の死因のトップは悪性腫瘍（通称がん）で、一生のうちに2人に1人が何らかのがんにかかると言われている。</p> <p>健康診断で、胃の二次検査が必要と指摘され、精密検査の結果胃がんと診断されると、精神的に大変なショックを受け、ひどく落ち込み、不安で眠れなくなることもある。そして、治療に移れば、手術、抗がん剤治療など色々な処置が行われ、治療の影響で、痛みや吐き気、食欲不振、だるさなどつらい後遺症が発生する。</p> <p>その間、仕事を休めば収入が減収し、経済的にも苦境に陥る。治療が長期に渡れば治療費の捻出が困難になり、治療を途中であきらめる方も生じかねない。本人と家族にとっても困難な状況に追い込まれる。</p> <p>高額な窓口負担に対して高額療養費制度を利用しても、長期に病院に入院すれば医療費の他に、食費、差額ベット代、入院中の生活費、自由診療の治療（ガン治療などに多い、保険適用外の治療）など多額の費用がかかる。又、治療後社会に復帰しても治療の後遺症が出れば、再び元の仕事に戻ることは困難になり、経済的な苦境に陥る。</p> <p>がん患者の方々の経済的負担を軽減して、社会に復帰後、働いて頂くことが社会全体の利益になると信じている。それゆえにがん患者の窓口負担を無料にするように意見書の提出を陳情する次第である。</p>	<p>一輪のバラの会 代表 加藤 克助</p>	<p>保健福祉</p>